

令和3年度福井工業大学 卒業生 在職状況調査
およびアンケート調査に関する報告書

令和3年12月

キャリアセンター 就職支援課

【調査の趣旨】

学校等の無料職業紹介事業関係業務取扱要領等により、職業紹介の実績等に関する情報提供が必要な事項のうち、離職状況の調査を本学卒業生の就職先企業を対象として実施した。あわせて卒業生に関するアンケート調査を実施した。

【調査の概要】

調査対象：平成 29(2017)年度および令和 2(2020)年度卒業生のうち企業就職者(932 名)

調査時期：令和 3 年 10 月 1 日～22 日

調査方法：卒業生の就職先企業（635 社）へ郵送、FAX またはメールにて回答

回答件数：在職状況調査 410 社（回答率 64.9%）、627 名（67.3%）

（※明確な在職状況がわからないものは無回答として集計）

アンケート調査 371 社（回答率 58.4%）

【調査結果】

1. 在職状況調査

[1] 6ヶ月以内離職率

在職状況および離職者については離職時期を尋ね、離職時期を基に 6ヶ月以内の離職率を集計した。令和 2(2020)年度卒業生の 6ヶ月以内離職率は 5.5%であった。年度別では平成 27(2015)年度：1.4%、平成 28(2016)年度：4.6%、平成 29(2017)年度：4.5%、平成 30(2018)年度：2.7%、令和元(2019)年度：4.1%と推移している。

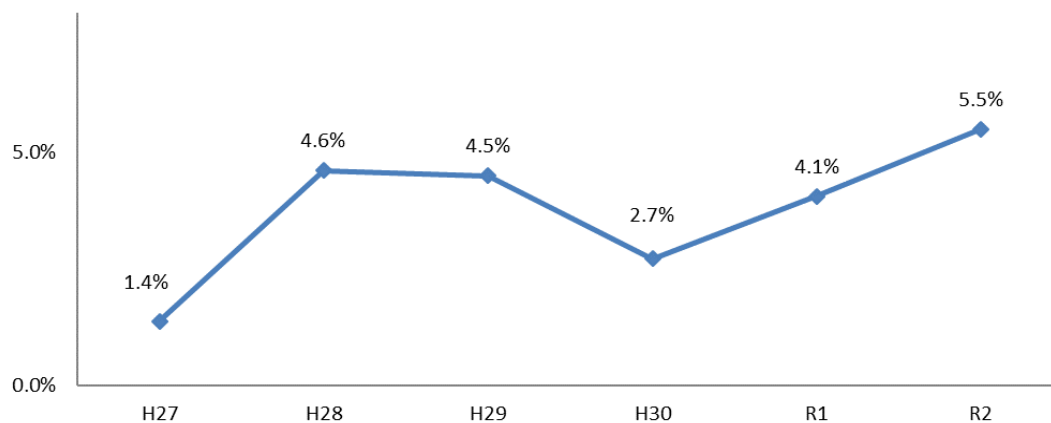


図 1. 6ヶ月以内離職率の推移

学科別での 6ヶ月以内離職率では、学科によりばらつきが見られた。

表 1. 6ヶ月以内離職率（学科別）

	E	M	A	N	F	K	D	S
H30年度卒	2.1%	3.2%	2.1%	4.9%	2.3%	5.0%	7.5%	3.3%
R1年度卒	0.0%	0.0%	8.9%	0.0%	0.0%	7.6%	9.4%	4.7%
R2年度卒	0.0%	1.9%	4.4%	11.1%	3.7%	14.5%	6.1%	5.7%

[2] 3年以内離職率

平成 29(2017)年度卒本学卒業生の 3 年以内離職率は 19.8%（前年度比 9.4%減）であった。厚生労働省が取りまとめた「新規学卒就職者の離職状況」（令和 3 年 10 月 22 日発表）の離職率 31.2%（昨年度比 1.6%減）と比較し、本学卒業生の離職率は 11.4%低い結果となった。

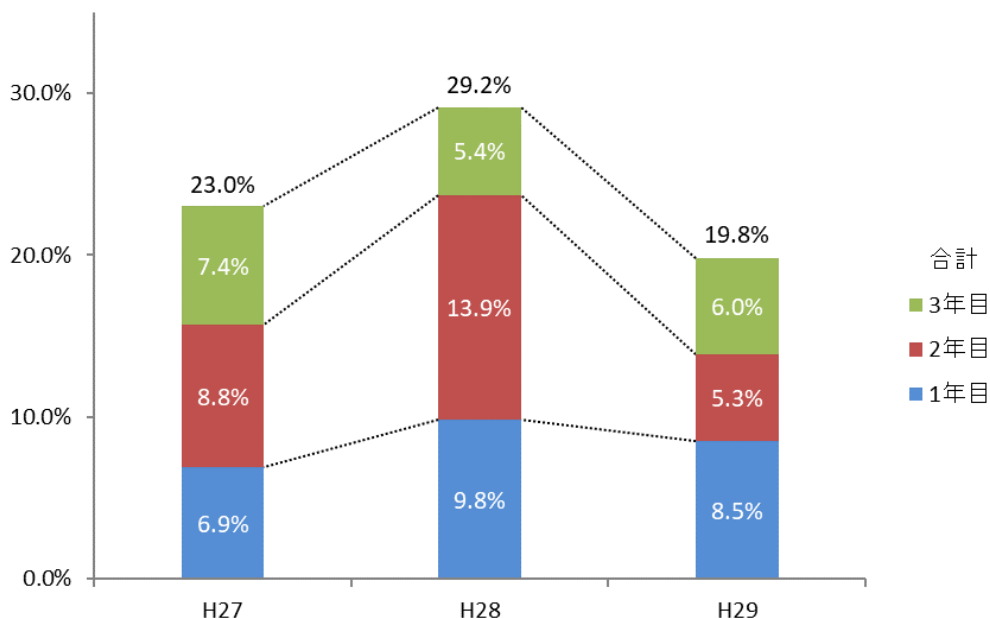


図 2. 3年以内離職率（離職時期別）

学科別での 3 年以内離職率には大きな開きが見られた。

表 2. 3年以内離職率（学科別）

	E	M	A	N	F	K	D	B
H27年度卒	21.9%	23.3%	33.3%	0.0%	12.0%	25.7%	31.6%	19.4%
H28年度卒	27.9%	16.9%	38.6%	37.5%	32.3%	30.4%	48.1%	18.9%
H29年度卒	18.2%	15.9%	24.4%	27.3%	16.2%	22.7%	50.0%	3.6%

2. 卒業生に関するアンケート

[1] 「福井工業大学卒業生の印象」と「新卒採用者全体の印象」の比較

本学卒業生および新卒採用者全体について、仕事に対する姿勢や能力等 20 項目を設定し回答を求めた。また最後に本学卒業生の採用について総合的な満足度について回答を求めた。設問への回答は「十分」「概ね十分」「やや不十分」「不十分」の 4 段階評価とした。

それぞれの回答を比較したところ、全項目で本学卒業生の印象が高い評価を得る結果となった。中でも「誠実である」の項目では「十分（46.5%）」「概ね十分（49.0%）」合わせて 95.5%となり、一昨年度から続けて最も高い評価を得た。

本学卒業生の採用について総合的な満足度は「十分（40.6%）」「概ね十分（52.1%）」合わせて 92.7%といった結果であった。

表3. 全21項目の結果

		福井工業大学卒業生の印象		新卒者全体の印象	
1 仕事に対する熱意・意欲がある	十分	122	34.2%	66	19.2%
	概ね十分	204	57.1%	237	69.1%
	やや不十分	27	7.6%	38	11.1%
	不十分	4	1.1%	2	0.6%
2 責任感がある	十分	106	29.7%	50	14.6%
	概ね十分	216	60.5%	241	70.3%
	やや不十分	32	9.0%	48	14.0%
	不十分	3	0.8%	4	1.2%
3 積極的で実行力がある	十分	74	20.8%	41	12.0%
	概ね十分	191	53.8%	199	58.2%
	やや不十分	83	23.4%	99	28.9%
	不十分	7	2.0%	3	0.9%
4 誠実である	十分	166	46.5%	113	32.8%
	概ね十分	175	49.0%	214	62.2%
	やや不十分	14	3.9%	15	4.4%
	不十分	2	0.6%	2	0.6%
5 コミュニケーション能力がある	十分	85	23.8%	51	14.9%
	概ね十分	194	54.3%	211	61.5%
	やや不十分	66	18.5%	78	22.7%
	不十分	12	3.4%	3	0.9%
6 表現力が豊かである	十分	48	13.5%	33	9.6%
	概ね十分	173	48.6%	182	53.1%
	やや不十分	124	34.8%	125	36.4%
	不十分	11	3.1%	3	0.9%
7 プレゼンテーション能力がある	十分	29	8.1%	16	4.7%
	概ね十分	187	52.5%	175	51.3%
	やや不十分	121	34.0%	139	40.8%
	不十分	19	5.3%	11	3.2%
8 協調性・チームで仕事をする能力がある	十分	109	30.5%	68	19.9%
	概ね十分	207	58.0%	224	65.5%
	やや不十分	36	10.1%	48	14.0%
	不十分	5	1.4%	2	0.6%
9 リーダーシップがある	十分	37	10.4%	14	4.1%
	概ね十分	161	45.1%	158	46.1%
	やや不十分	143	40.1%	162	47.2%
	不十分	16	4.5%	9	2.6%
10 一般知識・教養がある	十分	61	17.1%	37	10.8%
	概ね十分	239	66.9%	243	70.8%
	やや不十分	54	15.1%	61	17.8%
	不十分	3	0.8%	2	0.6%
11 創造性・企画力がある	十分	19	5.3%	12	3.5%
	概ね十分	206	57.7%	167	48.8%
	やや不十分	121	33.9%	157	45.9%
	不十分	11	3.1%	6	1.8%
12 問題解決力がある	十分	41	11.5%	19	5.6%
	概ね十分	230	64.4%	204	59.6%
	やや不十分	79	22.1%	114	33.3%
	不十分	7	2.0%	5	1.5%
13 課題発見力がある	十分	44	12.3%	20	5.8%
	概ね十分	214	59.9%	198	57.7%
	やや不十分	89	24.9%	120	35.0%
	不十分	10	2.8%	5	1.5%
14 専門分野の基礎知識・技術がある	十分	65	18.4%	28	8.3%
	概ね十分	216	61.0%	222	65.5%
	やや不十分	65	18.4%	81	23.9%
	不十分	8	2.3%	8	2.4%
15 専門分野の応用知識・技術がある	十分	42	11.8%	21	6.2%
	概ね十分	203	57.2%	185	54.7%
	やや不十分	99	27.9%	123	36.4%
	不十分	11	3.1%	9	2.7%

		福井工業大学卒業生の印象		新卒者全体の印象	
16 向上心をもって取り組む姿勢がある	十分	111	31.1%	69	20.1%
	概ね十分	211	59.1%	222	64.7%
	やや不十分	31	8.7%	50	14.6%
	不十分	4	1.1%	2	0.6%
17 ストレスコントロール力がある	十分	68	19.1%	31	9.1%
	概ね十分	230	64.6%	209	61.1%
	やや不十分	54	15.2%	98	28.7%
	不十分	4	1.1%	4	1.2%
18 マナーが良好である	十分	123	34.5%	68	19.9%
	概ね十分	202	56.6%	234	68.4%
	やや不十分	29	8.1%	36	10.5%
	不十分	3	0.8%	4	1.2%
19 語学力がある	十分	24	6.9%	8	2.4%
	概ね十分	173	49.4%	176	52.5%
	やや不十分	137	39.1%	136	40.6%
	不十分	16	4.6%	15	4.5%
20 倫理観がある	十分	73	20.4%	48	14.0%
	概ね十分	252	70.6%	250	73.1%
	やや不十分	28	7.8%	41	12.0%
	不十分	4	1.1%	3	0.9%
21 総合的に判断して、福井工業大学卒業生の採用に満足している	十分	145	40.6%		
	概ね十分	186	52.1%		
	やや不十分	25	7.0%		
	不十分	1	0.3%		

[2] 設問1の項目のうち企業が重要とする項目

設問1で設定した項目について、企業が重要であると考える姿勢・能力について1~5位まで順位付けて回答を求めた。

集計の結果「仕事に対する熱意・意欲がある」が最も高く、続いて「コミュニケーション能力がある」「協調性・チームで仕事をする能力がある」が上位項目となった。この結果は、本調査を開始した一昨年度から同様の結果が続いている。

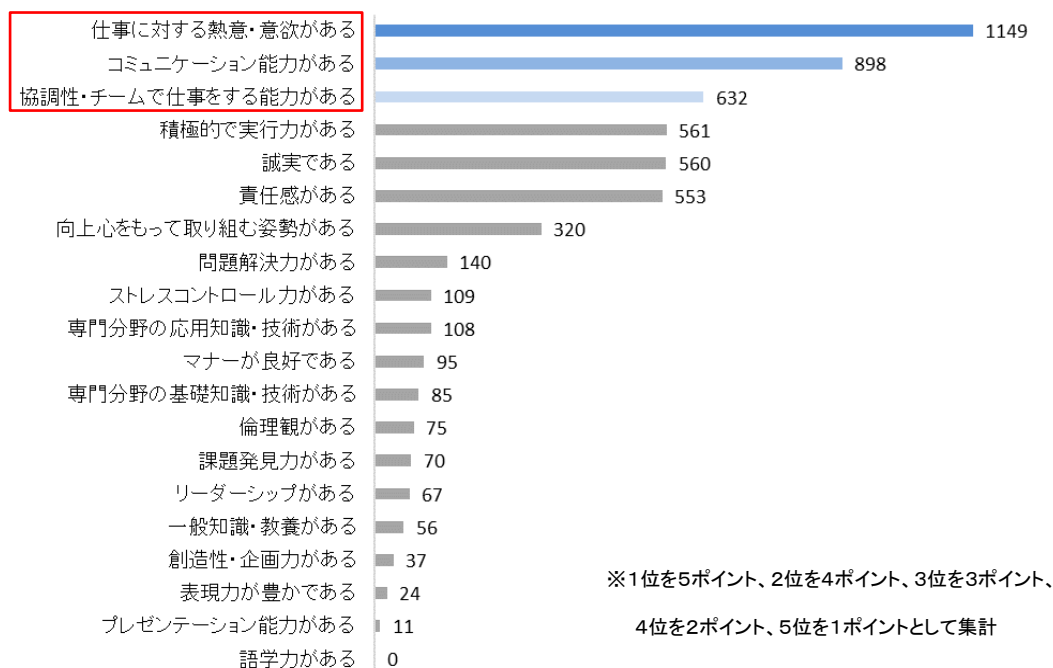
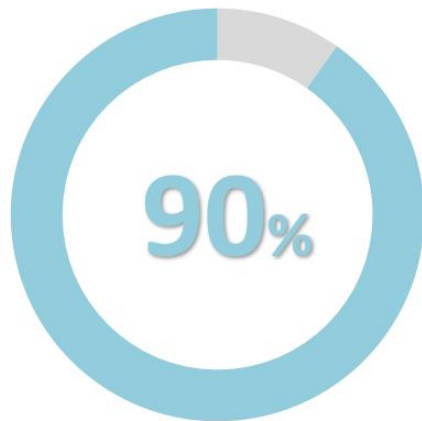


図3. 設問1のうち、企業における重要度

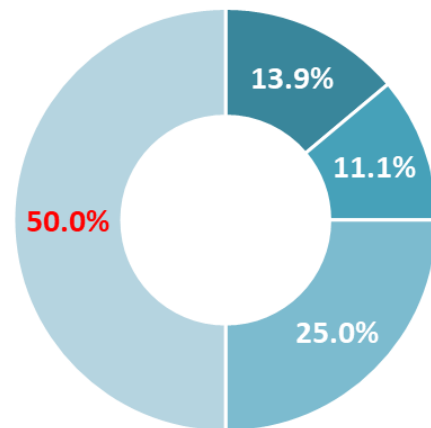
[3] 語学力（英語）について

採用時、語学力（英語）を重視するか、また重視する場合に求めるレベルについても回答を求めた。

「重視しない」との回答が90.0%と高い割合になった。「重視する」と回答した企業が求めるレベルは、「通常会話での最低限のコミュニケーションができる」が50.0%と最も多い結果となった。



■ 重視する ■ 重視しない



- 十分なコミュニケーションができる
- どんな状況でも適切なコミュニケーションができる
- 日常生活のニーズを充たし、限定された範囲での業務上のコミュニケーションができる
- 通常会話で最低限のコミュニケーションができる

図4. 語学力（英語）を重視するか

図5. 求めるレベル

[4] 採用時、重視する項目

各企業が採用時、重視する項目について重要度を1～5位まで順位付けして回答を求めた。「主体性」が最も高く、続いて「チームワーク・創造性」「実行力」が上位項目となり、いずれも昨年度の調査と同様の結果であった。

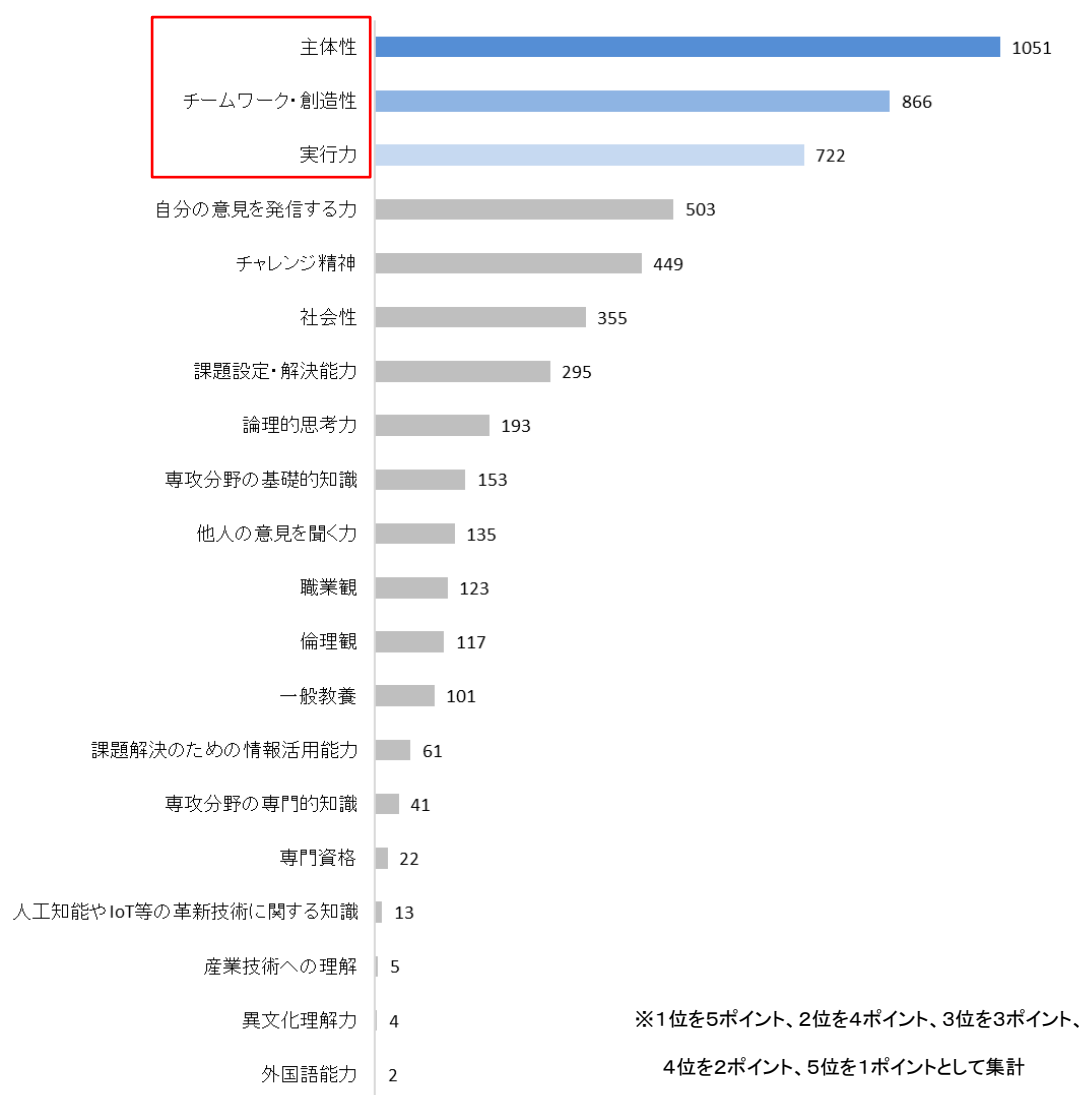


図6. 企業が、採用時に重視する項目

[5] その他

前述までの設問に加えて、その他、本学卒業生についての気づき、本学への要望を記述式にて回答を求めた。

最も多い内容は、求人・採用についての記述が38.5%となり、学生の紹介や説明会・研究会の機会を求める要望が挙げられた。続いて卒業生の印象についての記述が35.0%との結果であった。

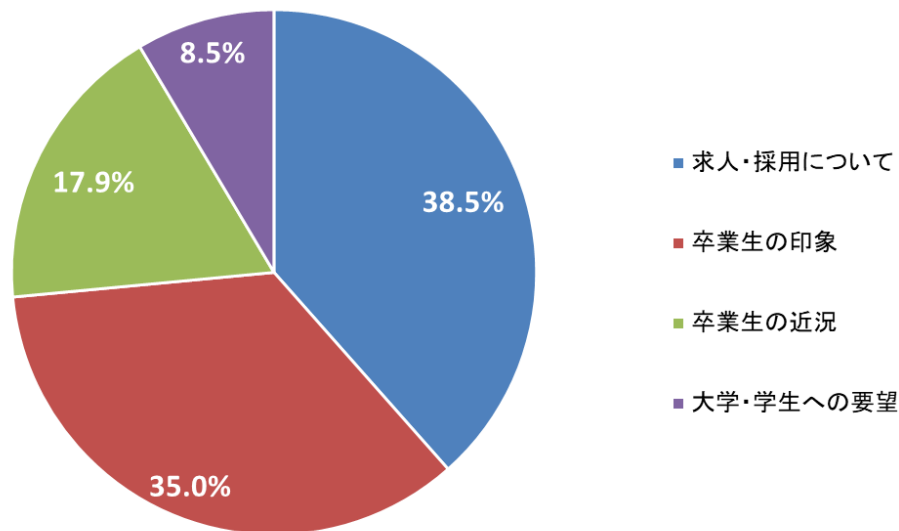


図7. その他、卒業生について、本学への要望等

【所見】

本調査の実施にあたり、令和元(2019)年度の調査開始以降、各企業より継続的にご協力をいただき、まずはご協力いただいた企業の皆様に感謝を申し上げます。

在職状況調査により、今回調査対象とした本学卒業生の在職状況は、全国データと比較して良好であることが明らかとなった。離職者に焦点を当てがちになってしまうが、入社企業で活躍する卒業生の存在は、今後進路選択をする在学生にとって良い存在であると考えられる。

アンケート調査により、企業が学生（大学）に求める力として挙げられる項目に変動はなかった。コロナ禍により、大きく変動する社会情勢や企業における働き方の変革においても企業が学生に求める資質に大きな変化はないと考えられる。

本調査の結果や寄せられた意見・要望等を踏まえ、より社会に求められる人材の養成を目指してキャリア教育・就職支援のあり方を検討したい。

以上